

## NEWS RELEASE

# L'ORÉAL

### ロレアル、「タカミ」ブランドのスキンケアを販売する 株式会社タカミと買収に関する契約を締結

2020年12月23日 - 世界最大の化粧品メーカーである仏・ロレアル（本社：パリ）は、日本企業の株式会社タカミ（本社：東京都中央区、代表取締役：岡村雄嗣）の買収に関する契約を締結したことを発表しました。同社は、東京にある2つの皮膚科クリニックの創始者である高見洋医師が所有するスキンケアブランド「タカミ」のライセンス製品を開発・販売しています。ロレアルは、同時に、高見医師とのブランドライセンス契約を長期間更新し、タカミクリニックとのコラボレーション契約を締結しました。今後数週間を経て、買収は完了する見込みです。

東京・表参道の美容皮膚科「タカミクリニック」のノウハウをもとに1999年に設立されたプレミアムスキンケアブランド「タカミ」は角質ケアのエキスパートとして知られています。その主力製品は角質美容水「タカミスキンピール」で、アジア諸国においては「リトルブルーボトル（小藍瓶）」として知られています。主な販売地域は日本と一部のアジア諸国で、なかでも中国において消費者の高い支持を得ています。オムニチャンネルに販売を展開しており、主な流通はサブスクリプション型のEコマースと、百貨店などのプレミアム業態です。同ブランドの売上高は2019年度に約68億円でした。新型コロナウイルスの影響で市場が冷え込む中、今期においても成長を続けています。

ロレアルリュクス・プレジデントのシ ril・シャピユイは次のようにコメントしています。「タカミブランドを当社のポートフォリオに迎えることができ、大変嬉しく思っています。アジアにおけるタカミの高い定評は、その品質の高さに匹敵するものです。同社のもつプレステージビューティートリートメントの専門知識とオムニチャンネルの販売網は、ロレアルリュクスのブランドポートフォリオにおいて極めて補完的といえます」。

日本ロレアル社長のジェローム・ブリュアは、「岡村氏が率いるタカミブランドチームは、スキンケアの専門知識、独自のビジュアル・アイデンティティ、高いブランドロイヤリティをもつコアな顧客グループを日本において構築し、ブランドの名声を高めてきました。これらの要素がブランドの成功の柱であり、今後さらに成長していくことでしょう」とコメントしています。

株式会社タカミ代表取締役社長兼オーナーの岡村雄嗣は、「美容皮膚科タカミクリニックのノウハウから生まれた私たちの製品は、日本の消費者の高い要求水準を満たす品質と効能を提供しています。日本での21年間の成長を経て、世界をリードするビューティーカンパニーであるロレアルグループの一員となり、その科学的・国際的な専門知識を得てブランドをさらに発展させていくことができることを嬉しく思います」と述べています。

#### ロレアルグループについて (<https://www.loreal.com/>)

仏・ロレアルは、100年以上にわたって美に捧げてきました。36の多様で国際的で独自のブランドポートフォリオを有し、2019年でのグループの売上高は298.7億ユーロ、社員数は88,000人です。世界有数の化粧品会社であるロレアルは、マス市場から百貨店、調剤薬局、ドラッグストア、美容院、トラベルリテールや旗艦店、Eコマースなど、あらゆる流通チャンネルで展開しています。4,100名の研究員を有し、研究開発をグループ戦略の基幹に置き、世界中の人々の美への熱望を叶えるために日々活動しています。野心的で持続的発展を目的としたロレアルグループの2030年に向けたサステナビリティの取り組みは、よりインクルーシブでサステナブルな社会実現のためのエコシステムの実現を目指しています。

#### 日本ロレアルについて (<http://www.nihon-loreal.jp/>)

ロレアルは 1963 年から日本で事業を開始し、1996 年に日本法人である日本ロレアル株式会社が設立されました。2019 年時点での社員数は、2,670 人、取り扱いブランドは 17 です。化粧品の輸入、製造、販売、マーケティングを行っています。